

## 三島市 第3回新庁舎整備に関するワークショップ開催報告

### ○開催概要

新庁舎整備における基本構想・基本計画へ、市民意見に加え、自治会、地元関係団体等の幅広い意見を反映させるため、令和4年11月12日に行った第1回、令和5年2月18日に行った第2回に引き続き、第3回ワークショップを開催しました。ワークショップ参加者は市民、各関係団体の推薦者、学生及び市職員で構成されます。なお、市民は前回の市民会議参加者から継続してワークショップへの参加を希望する方を募り、市職員は35歳以下の若手職員から公募しました。

日時 : 2023年4月15日(土) 13:30-15:30

場所 : 社会福祉会館4階 大会議室

参加者 : 24名(当日参加20名+書面参加4名)

※当日欠席の方へ後日アンケート用紙を郵送し、書面にて回答いただきました。

テーマ : 「理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置」

### (第1回内容)

第1回ワークショップでは、まず新庁舎整備計画の概要説明を行い、これまでの経緯、整備の基本方針、候補地概要、庁舎整備の事例を共有しました。

その後、A~Eの5グループに分かれて検討を行いました。自己紹介で各々の「三島の好きな場所」について共有した後、以下2テーマについて討議を行い、会の最後には、各グループの代表者に、検討成果を発表いただきました。

テーマ : ①「三島のまちでどのようなことがしたいか。どのような場所があると良いか。」

②「①を踏まえ、市庁舎でしたいこと、あったら良いスペース・機能は何か。」

### (第2回内容)

第2回ワークショップでは、まず第1回ワークショップの振り返り、明治大学大学院の学生提案の概要説明、まるごとマルシェの事例紹介を行いました。

その後、前回に引き続き、同じメンバーでA~Eの5グループに分かれて検討を行いました。始めに第1回ワークショップの検討内容の振り返りを行った後、ワールドカフェ方式によるグループワークを行い、「理想の庁舎像」について討議を行いました。会の最後には、各グループの代表者に、検討成果を発表いただきました。

テーマ : 「理想の庁舎像について」

## ○プログラム

### ①オリエンテーション 13:30~14:00

これまでに共有した情報の確認、検討内容の振り返り、新庁舎整備検討におけるビッグデータ活用の取り組みの共有を行いました。

- ・ これまでに共有した情報の確認/10分
- ・ 第1回、第2回ワークショップの検討内容の振り返り/10分
- ・ 新庁舎整備検討におけるビッグデータ活用の取り組みの共有/10分

### ②グループワーク 14:00~14:30

前回に引き続き、同じメンバーでA~Eの5グループに分かれて検討を行いました。

第1回、第2回ワークショップであがった、市庁舎に関する主な意見（理想の庁舎像）を、以下A~Oの15枚のカードにまとめ、どちらの候補地で実現できるか、またはどちらでも実現できるのか、カードの振り分けを行いました。

A~O以外の意見があった場合は、新しく白紙のカードに書いて振り分けていただきました。

- ・ グループ討議「理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置」/25分
- ・ グループの意見まとめ/5分

#### A. 柔軟な場所の活用

例：平日と休日で機能を切り替える、  
空き時間に使えるワークスペース

#### B. 多目的に利用できる

例：開放された多目的スペース  
誰でも使える会議室

#### C. 市民の憩いの空間

例：ゆっくりできる喫茶、食堂  
広場等休める場所

#### D. 市民活動を行える場所

例：ピアノの演奏等の文化活動の場、  
学校と連携した発表の場

#### E. まちへの愛着 (CIVIC PRIDE) を育む

例：まちを良くしようと実践する場  
みんなで集まって未来を話し合う場

#### F. まちの魅力を発信

例：水や歴史等まちの魅力を発信  
地域の食材を使用した食堂

### **G. まちの情報拠点**

例：情報共有・助け合いを促す  
地域のコーディネーター

### **H. 子どものための場所**

例：子どもが遊べる、安全に使える  
親子でも参加しやすい議場

### **I. 人が集まる拠点**

例：集会所、気軽に相談できる窓口  
付加価値のあるわざわざ行く場所

### **J. 交流の場**

例：世代を超えた交流の場  
子育て世代の相談・交流の場

### **K. アクセスが良い**

例：まちなかの交通との連携、  
車での来庁のしやすさ（駐車場）

### **L. 皆が使いやすい**

例：バリアフリー、託児所、  
ユニバーサルデザイン

### **M. 災害に強い**

例：災害時の支援物資の保管  
災害時の情報発信拠点

### **N. DX化への対応**

例：スリム化、オンライン手続き、  
ワンストップ窓口

### **O. ちょうどよい規模**

例：人口規模にあった大きさ  
機能に見合った規模の庁舎

※A~O は第2回WS であがった代表的な意見



○実施風景



オリエンテーション



グループワーク



グループワーク



グループワーク



全体発表



個別シートの記入

## ○検討結果

グループワークでの検討内容を、以下に整理しました。

各候補地で実現できると考えた「理想の庁舎像」の種類と、意見の内容をまとめています。

※一部、表現が伝わりづらいものについては、各グループのファシリテーターに確認の後、語順変更、語尾修正等をしています。

### ■グループ A

(北田町)

理想の庁舎像	意見
A. 柔軟な場所の活用	・実際にできた時にまちなかにある方が行きやすい ・車じゃなくても行ける、年配の方が行きやすい
B. 多目的に利用できる	
E. まちへの愛着(CIVIC PRIDE)を育む	・観光客とか市外へのアピール (大社、せせらぎ)
F. まちの魅力を発信	
G. まちの情報拠点	
J. 交流の場	・高校生、大学生が魅力を感じるのはまちなかの北田町

(南二日町)

理想の庁舎像	意見
D. 市民活動を行える場所	・スペースの広さがないといけないのでは？
K. アクセスが良い	・将来的には重要ではないかも(DX化の推進により) ・車だけのアクセスなら
M. 災害に強い	・浸水対策ができれば、むしろスペースの広い南二日町

(両方の候補地で実現可能/必要)

理想の庁舎像	意見
C. 市民の憩いの空間	
H. 子どものための場所	・「キッズスペース」か「近くで遊べるところ」で異なる
I. 人が集まる拠点	・どちらでもできそう
L. 皆が使いやすい	
N. DX化への対応	
O. ちょうどよい規模	

**(候補地ごとの意見まとめ)**

・北田町

市民の情報拠点、観光客へのまちの魅力の発信、学生等の世代を超えた交流の場は、まちなかへのアクセスを考慮すると北田町が良い。来街者と一緒に取り組みを行う際も、大社やせせらぎがあり、交流の交差点となるまちなかが良い。

・南二日町

浸水対策ができているならば、広いスペースを活かして災害時の支援物資を保管する等、防災拠点として活用することができる。また、普段より広いスペースを必要とする文化活動は二日町の方が行いやすい。車でのアクセスは良い。

・両方の候補地で実現可能/必要

市民の憩いの場、子供のための場所は両候補地に求める。I,L,N,O はどちらの候補地でも実現できる。

■グループ B

(北田町)

理想の庁舎像	意見
A. 柔軟な場所の活用	・日曜日にお店が開いているので、市庁舎の駐車場が使える ば良い
C. 市民の憩いの空間	・広小路などまちなかのお店に立ち寄りたい
F. まちの魅力を発信	・情報発信はまちなかの方が適している ・駅近で情報拠点の方が良い ・市役所でなくてもできるのでは？

(南二日町)

理想の庁舎像	意見
A. 柔軟な場所の活用	・広くないとできないのでは（現庁舎で行われていない）
C. 市民の憩いの空間	・広い方が良い（充実の施設）
D. 市民活動を行える 場所	
K. アクセスが良い	・学校の友達と会いやすい駅近（電車の人、自転車の人） ・駐車場の確保
O. ちょうどよい規模	・仮庁舎のコストが減らせる

(両方の候補地で実現可能/必要)

理想の庁舎像	意見
G. まちの情報拠点	・市役所になくてもよい。買い物などと役所の手続きは別で 考えたい
K. アクセスが良い	・どちらにしてもお年寄りなどの立ち寄りやすい場所 ・無料シャトルバス
新. 防犯・安全なまち	・にぎわいの前に安全に暮らせるように ・視点として持つべき

(候補地ごとの意見まとめ)

・北田町

まちの情報拠点は、まちなかに立地し、三島駅から近い北田町の方が効果を期待できる。また、広小路など、まちなかのお店へ立ち寄ることができる。

・南二日町

十分な敷地面積があるため、現庁舎が抱える駐車場不足の問題を解決できる。また役所以外

の機能を充実させることができる。構造的な部分からも使い方を多様に選択できる。

・両方の候補地で実現可能/必要

まちの情報拠点は、市役所になくても良い。アクセスは、どちらの候補地でも、お年寄りが立ち寄りやすいようにしたい。また、防犯や安全性という視点も持つべき。

■ グループ C

(北田町)

理想の庁舎像	意見
E. まちへの愛着(CIVIC PRIDE)を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古道、昔から集まる場所の歴史、特徴</li> </ul>
O. ちょうどよい規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当に必要な機能を (コスト)</li> <li>・ まちなかの空地、空き家 人がいるまち→インフラ・生活も便利にコンパクトに集約</li> <li>・ 三島市の人口減、空き家が多い・増加</li> <li>・ 現状の分散化には問題を感じる、コンパクトながらも全機能は集約したい。(時代が進めばできるようになるのでは)</li> <li>・ コンパクトに建て替え→現状の4拠点も活用していく</li> <li>・ 何でもやれば良いというわけではない (よりベターな選択)</li> <li>・ 便利さだけを追求すれば良いわけではない</li> </ul>

(南二日町)

理想の庁舎像	意見
H. 子どものための場所 (課題としての意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サッカーなど子どもの遊び場がなくなってしまうのか?</li> </ul>
K. アクセスが良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現庁舎は駐車場が狭い。交通量多い一号線を含めて考える</li> <li>・ 幹線道路からアクセス→災害救助にも良い</li> </ul>

(両方の候補地で実現可能/必要)

理想の庁舎像	意見
K. アクセスが良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰にとってのアクセスか? という視点</li> </ul>
M. 災害に強い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人の命を守る (収容キャパシティ)</li> <li>・ 災害時にリスク高い土地に逃げるのか</li> <li>・ 大雨時浸水リスク (震災時に本当に使えるのか? 対策が必要)</li> <li>・ 広い、アクセスを考えると魅力的</li> <li>・ 災害対策とコストのバランス</li> <li>・ ハザードマップ+データ分析で人流も変わる可能性 (変化を見据える)</li> <li>・ 避難する市民を収容できるキャパシティが必要</li> </ul>
F. まちの魅力を発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所の活用まではしていないが重要</li> </ul>
G. まちの情報拠点	

L. 皆が使いやすい	
N. DX 化への対応	
新. 人が集まる場所 の象徴	・ 100 年もつ建物→数年の辛抱を耐える価値ある

**(候補地ごとの意見まとめ)**

・北田町

災害対策にこだわるべきで、浸水リスクや防災性を考慮すると北田町が良い。必要な機能を考え工夫をすれば、現地でコンパクトに建て替えることが可能。

・南二日町

白いキャンパスのような、何でもできそうな場所として南二日町に魅力を感じる。また、幹線道路からのアクセスが良いため、災害時の救助活動には適している。

・両方の候補地で実現可能/必要

まちの情報拠点、まちへの愛着を育む、まちの魅力を発信、DX 化への対応は、D グループの理想であり、候補地に関わらず共通の課題だと考える。また、候補地はコストも含めたいろいろな要素で判断すべき。

■ グループ D

(北田町)

理想の庁舎像	意見
O. ちょうどよい規模 (課題としての意見)	・小さいと集約はするけど高層にしないと

(南二日町)

理想の庁舎像	意見
A. 柔軟な場所の活用	
K. アクセスが良い	・ 一号線大事 ・ アクセス 駅近い、道路広い
L. 皆が使いやすい	・ 広い方が自由度が上がる (建物・中身)
O. ちょうどよい規模	・ バリアフリーに高層は合わない
M. 災害に強い	・ 災害に強く作る ・ 防災拠点という意味で広い方が良い ・ 災害に強い、堤防大事 ・ 警察と役所が近いのは、機動力がある (南二日町は川を挟んで警察がある)
N. DX 化への対応	・ インフラ整備も含めて南二日町の方が良い (維持にはコストがかかる (建替))

(両方の候補地で実現可能/必要)

理想の庁舎像	意見
E. まちへの愛着(CIVIC PRIDE)を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ D グループの理想</li> <li>・ 共通の課題、どっちでも良い</li> <li>・ DX 化は次世代にも高齢者にもサポートできる</li> </ul>
F. まちの魅力を発信	
G. まちの情報拠点	
N. DX 化への対応	

(候補地ごとの意見まとめ)

・ 北田町

南二日町だと、北側のエリアに住む人がアクセスしづらい。

・ 南二日町

敷地が広く柔軟性があるため、様々なことを行える。バリアフリーやユニバーサルデザインを考えると、低層で広くつくれる南二日町が良い。警察が近く、国道一号線からのアクセス

も良いため、防災拠点としても活用できる。

・両方の候補地で実現可能/必要

まちの情報拠点、まちへの愛着を育む、まちの魅力を発信、DX化への対応は、Dグループの理想であり、候補地に関わらず共通の課題だと考える。また、候補地はコストも含めたいろいろな要素で判断すべき。

■グループ E

(北田町)

理想の庁舎像	意見
A. 柔軟な場所の活用	・ オフィスビルの低層にあるホールのようなマルチな使い方 ・ 若い人が集まったあとどのような動きをするか。北田町はまちなかに広がっていく。
D. 市民活動を行える場所	
K. アクセスが良い	・ 市の中心 ・ まちなかとの関係 ・ 学生のアクセスは北田町が良い (自転車・徒歩) ・ 自転車でのアクセスが良い (レンタルサイクル)
M. 災害に強い	・ 災害時の司令塔として機能してほしい ・ 安全地帯

(南二日町)

理想の庁舎像	意見
K. アクセスが良い	・ 車だとアクセスが良い ・ 国道一号線からのアクセスが良い
O. ちょうどよい規模	・ スペースの広さ ・ コストの低さ

(両方の候補地で実現可能/必要)

理想の庁舎像	意見
B. 多目的に利用できる	・ 候補地に関係なく、ベースとして求める
C. 市民の憩いの空間	・
F. まちの魅力を発信	・ 食堂に、地域独自の食材 ・ 今の市役所はお茶をする場所もない ・ まちの情報拠点と人が集まる場所等はミックスしていきたい。(C、F、G、I、J)
G. まちの情報拠点	
H. 子どものための場所	・ 手続きのあいだに遊ばせておけるスペース
I. 人が集まる拠点	・ ワンストップサービス ・ 手続きをするとき、一括で担当してくれる窓口 ・ 市民の総合相談は市・市民にメリットがある
J. 交流の場	・ 文化会館の回りでイベントをやっていた。役所の中だけでなくても良いかもしれない ・ 市役所の周り (屋外スペース) で交流の場を設けられるかも

	しれない
N. DX 化への対応	・DX 化→省スペース化→生まれたスペースの活用方法

**(意見まとめ)**

・北田町

三島駅から三島大社まで、現庁舎の周りは長い時間をかけて整備されてきた。まちとの関係を考慮すると、市民活動や学校との連携等は北田町が良い。また、南二日町は防災マップで浸水想定区域に入っていることが懸念点。災害時も安全な司令塔として機能するようにしたい。

・南二日町

コストが低く、車でアクセスしやすい。敷地が広いため、多目的な利用を想定して整備できると良い。市庁舎は南二日町に建てるが、防災機能は北田町に残すことも考えられる。

・両方の候補地で実現可能/必要

多目的な利用、DX 化への対応は、候補地に関係なく求める。また、まちの情報拠点と人が集まる場所等は一体の場所としたい (C、F、G、I、J)。

## ■個別シート意見まとめ

これまでの検討を踏まえ、個人として新庁舎の整備場所についてどのように考えるか意見を伺いました。以下は、いただいた主な意見です。

主な意見	
北田町に 建てたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外からの人も含めて交流活動がしやすい</li> <li>・ 防災拠点を多拠点にして本部機能だけまとめる</li> <li>・ 市職員がまちづくりの中心にいる</li> <li>・ 周辺施設とトータルにデザイン</li> <li>・ 市役所は行政を行う場所、市民の交流の場ではない</li> <li>・ 災害の少ない場所</li> <li>・ 海拔が高いため災害時の本部機能が確保できる</li> <li>・ 建蔽率、容積率を変更で対応できる</li> <li>・ 身の丈に合ったコンパクトなものづくり</li> <li>・ 駅からも商業施設からも近いため人通りが多い場所として発信ができる</li> <li>・ 観光客に使いやすい</li> <li>・ 防災面で地域の拠点となる</li> <li>・ 長く愛された場所</li> <li>・ 狭いがDX化で工夫が可能</li> <li>・ 安全性が高い</li> <li>・ 町の中心にある</li> <li>・ 災害に強い</li> <li>・ まちへの愛着が強い</li> <li>・ 水や歴史的な街の魅力</li> <li>・ 今後のまちづくりはウォークアブルであるべき</li> <li>・ 市役所機能は、現在のように拠点分散型で構わない</li> <li>・ 未来を見据えた視点で必要な機能や規模を検討して欲しい</li> <li>・ 1階をできるだけ市民活動や市民の交流の場にする</li> </ul>
南二日町に 建てたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災拠点としての用地の確保</li> <li>・ 仮設庁舎が不要なので防災対応が建設時も維持できる</li> <li>・ 事業費に差がある</li> <li>・ 北田町は観光に特化した施設、駐車場に活用できる</li> <li>・ 想定事業費が安い</li> <li>・ 敷地が広く、さまざまな機能を持った庁舎にできる</li> <li>・ 交通アクセスが良い</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が身近にあり市民が憩うことができる</li> <li>・高齢者、学生が行く際に交通サービスが充実している</li> <li>・これまで実現できなかった様々な場(情報共有、ストリートピアノ、物資保管)として使うことができる</li> <li>・子供が遊べる場所や喫茶ができる</li> <li>・三島市全体の発展につながる</li> <li>・今後の利便性を考えると北田町では狭すぎる</li> <li>・役所機能のほかに多様性が持てる</li> <li>・公園的な安らぎを備えたゆとりと安心</li> <li>・近隣住民の安全対策を考慮できる</li> <li>・北田町の敷地はまちなかや観光のために活用できる</li> <li>・無駄なものは作らないことを前提に、2Kの家に工夫して住むよりも4LDKの国道そばを望む</li> <li>・広さもあり自由度が高い</li> <li>・交通アクセスも良く国道1号線に面していて防災拠点としてよい</li> <li>・浸水対策は盛り土をすれば問題ない</li> <li>・自衛隊等の出動時に今よりも広く国道に近い</li> <li>・コスト面で</li> <li>・交通アクセスが便利</li> <li>・敷地が広い</li> <li>・敷地面積が広いので防災拠点となる</li> <li>・待合スペースが取れる</li> <li>・駐車場不足解消</li> <li>・駅からも近く車でのアクセスも良く誰でも行くことができる</li> <li>・消防署や警察署が近く安全面が確保できる</li> <li>・北田町に建てるとスペース不足で職員はどこで仕事をするのかなと思う</li> </ul>
<p>どちらでも</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらにもいい点がある</li> <li>・工夫次第でどちらでも満たすことが可能</li> <li>・防災など広さを必要とするのは南二日町、急ぐ手続きは北田町、どちらも三島の発展につながる方向で</li> <li>・庁舎という機能を越えて、人と人との交流を求める意見も非常に多かったという印象を持ちました。</li> <li>・建物を建てる点では、敷地に余裕のある南二日町が圧倒的に有利。一方で、中心市街地へのアクセスでは課題もある。</li> <li>・どちらのエリアも一長一短あるので、エリアを選択した場合におけ</li> </ul>

	るそれぞれの短所にあたるポイントへの対応や改善に注力できれば良い。
--	-----------------------------------

参加者が選択した整備場所の内訳は以下の通りです。

新庁舎は北田町（現地）に建てたい	10名
新庁舎は南二日町（移転）に建てたい	10名
どちらでも理想の庁舎像を実現できる	4名

### ○総括

本ワークショップにおいては、基本構想策定時に3回、基本計画策定時に3回の計6回としており、基本策定時の3回のワークショップが終了しました。

基本構想策定時の目的としては、新庁舎の整備地を決定するための意見の集約となり、これを決定するために第1回では庁舎に必要な機能のすみわけ、第2回では三島市に必要な機能を持った理想の庁舎像の検討、そして第3回では各個人での整備地に関する意見を頂きました。

3回のワークショップ経て、いただいた新庁舎整備地に関する貴重な意見については、整備地選定の参考にさせていただき、今後策定する基本構想に引き継いでいきます。